

放課後等デイサービス自己評価結果と保護者へのアンケート結果を受け 放課後等デイサービス元気の学校 もりの家 の今後の取り組み

保護者向けアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

- ・保護者様にご記入頂いた内容を集計して公表させていただきます。
- ・全職員が自己評価表を作成し全員でまとめた内容です。

令和3年度の評価結果を受け今後の課題と方針

1.障がいの無い子供との活動する機会が無い

昨年も引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防の為に外部との関わりや、校外学習は控え各イベントも中々出来ず、他の施設や障がいの無い子供との交流する機会がとれず子供達には、我慢をさせなくてはいけない事が多かったと思います。そんな中、2年振りに芸術祭スローリーライブが開催され子供達も関係者も久々に楽しい時間となりました。

2.非常時の対応について

ご利用のしおりにて非常災害時の対応や避難場所、また感染症についての周知、説明等は引き続き行っていきます。BCP 計画については現在作成中、咄嗟の時にも慌てず全員が対応できるような BCP 計画に仕上げていきます。災害時避難訓練は年2回実施していきます。身体拘束廃止、虐待防止についても委員会を設置し、マニュアルにそっての研修や予防についての検討を繰り返し、実践していきます。

また年2回の避難訓練は引き続き行っていきます。

3. 今期の支援方針

令和4年4月より理学療法士を新たに配置する事により、基礎体力の増強や体の歪みの調整をしていく事で 社会に出てから対応していける身体づくりに取り組んでいきます。児童発達管理責任者を中心に保育士、児童指導員等と連携し全体として個々としてのプログラムを立て、より下記のプログラムがスムーズに実践していけるよう基本5領域の中の家族支援 地域支援にも心掛けていきます。

【総合型プログラム】

高校卒業後の社会参加にむけ本人支援の5領域プラス「自己肯定感」「達成感」「仲間形成」「孤立の防止」を盛り込む支援を進めていきます。
個々に応じた支援により《出来た》を増やしていきます。

運動プログラム 粗大運動による体幹や感覚へのアプローチによって姿勢保持や脳への発達に繋げる。体力面でのアプローチにて精神面の向上、安定。感覚による刺激により過敏さや敏感さへのアプローチ。

- ・ダンス ゲーム ストレッチ

作業・創作プログラム

微細運動による脳への刺激と先の就労に向けて様々な経験を積む。

- ・壁画作成 軽作業

生活動作プログラム

排泄や食事、着替え等の練習により一人で出来る事を増やしていく。

地域交流・ソーシャルスキルプログラム

集団の中での基礎的なルールの理解と把握

- ・あいさつ ルール等
- ・コミュニケーション

特定非営利活動法人なのはな徳島
放課後等デイサービス元気の学校 もりの家
管理者 宿里 大樹